

2012 **米**
12月号

原水協通信

MEMBER OF THE JAPAN COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話(03)5842-6031

FAX(23)5842-6033

http://www.antiatom.org/

Email:antiatom55@hotmail.com

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4

〔編集〕原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 Tel (06) 6765-2552 FAX [06] 6765-2837

大阪100万署名推進委員会

天王寺駅で第1回署名・宣伝行動

既報のとおり、10月26日に2015年NPT(核不拡散条約)再検討会議に向けて大阪で100万署名を達成するために「大阪100万署名推進委員会」が結成されました。そこで11月6日に推進委員会として最初の「核兵器全面禁止のアピール」署名・宣伝行動をJR天王寺駅東口で午後5時～6時の間行いました。

今後毎月6日を基本に夕刻ターミナルで署名・宣伝行動を継続して行いますので、皆様の参加・ご協力をお願いします(1月6日(日)は午後0時～1時、梅田・ヨドバシカメラ前)



オバマ大統領に抗議文を提出

アメリカの臨界前核実験の実施に対し、大阪原水協は直ちにオバマ大統領に下記抗議文を送付しましたので紹介します。

貴政府エネルギー省傘下の核安全保障局は12月6日、臨界前核実験を5日西部ネバダ州で実施したと発表した。核弾頭を模した装置とプルトニウムを組み合わせ、従来より豊富な情報が得られる新たな方法を使った可能性がある、報道されている。

2009年9月、貴殿は「核兵器のない世界」をめざす演説を行い、世界の核兵器廃絶を願う人々に大きな期待をもたらし、ノーベル平和賞を受賞するに至った。しかし、その後の貴殿アメリカ政府の核戦略は「核抑止力」を基盤とした世界戦略をより強固に深化し日米軍事同盟を中心としてすすめており、核兵器廃絶を願う非同盟諸国をはじめとする多くの国々から怒りと失望の声があがっている。今年の国連では核兵器の人的見地からの核兵器廃絶を願う34カ国声明が議論されており、貴政府の今回の臨界前核実験はこの「人類の良心と智慧」に逆行し、否定する暴挙である。日本は、世界で唯一の被爆国である。今なお全国に22万人の被爆者が放射線を起因とする疾病に苦しみ、原爆症認定を求める訴訟が広島・長崎はじめ全国各地でたたかわれている。原爆投下から67年たった現在でもこうした状況の中で、被爆者の方がたの願いは、「私たちが生きている間に、この地球上から核兵器をなくしてほしい」である。また、被爆国の国民とともに核兵器廃絶を求めて運動を取り組んできた私たちの願いも同じものである。

私たちは、広島・長崎に原爆を投下し、今まだなお核実験を続ける貴政府に、心より断固抗議するものである。

2013年度版

いわさきちひろカレンダー

—普及、4000本突破!—

子どもへの温かい愛あふれる絵画を描いて好評の「いわさきちひろカレンダー」は日本原水協が1975年以来普及活動を続けてきました。昨年は全国で「いわさきちひろ美術展」が開催され、今年は映画も上映され、絵画の芸術性への評価は一層高まっています。



10月からの普及活動で、多くの皆さんのご協力により、ついに4000本を突破しました。購入していただいた方からは「毎年、楽しみにしています」「一枚の絵を額に入れて飾っています」など好評の声が寄せられています。引き続き、普及へのご協力をお願いします。《大判A2版 絵7枚→1本1400円》

ノーモア・ヒバクシャ訴訟 (当面の日程)

全て大阪地裁ですが、裁判内容によって法廷が変わりますのでご注意ください。

◎ 1月17日(木) 午後1時30分～5時
806号法廷
新・却下取り消し訴訟

◎ 2月8日(金) 午後1時30分～5時
202号法廷
第2次義務付け訴訟(結審予定)

◎ 3月7日(木) 午後1時30分～5時
806号法廷
新・却下取り消し訴訟

核兵器固執、現発推進の議員を国会から追い出し 核兵器全面禁止、核兵器ゼロの議員を増やそう

日本の針路を大きく左右する2012年総選挙が12月16日投票で闘われています。

大阪原水協では11月28日岩田幸雄理事長、小松正明事務局長連名で表題のアピールを発表しました。平和を愛する全ての皆様のご奮闘を呼びかけます。

1月度 6・9行動

<大阪100万署名推進委員会
の第2回目の署名行動は>

1/6(日) 午後0時～1時 梅田 ヨドバシカメラ前

草の根の署名運動をひろげ、核兵器のない世界を実現しよう！ ～「核兵器全面禁止のアピール署名」大阪100万筆達成をよびかけます～

平和を愛する仲間のみなさん

広島、長崎への原爆投下から67年を経た今もなお、約2万発の核兵器が人類の生存を脅かし続けている中で、全世界の人々が「核兵器のない世界」の実現のために力を合わせ、また福島原発事故の被災者をふくむ全ての核被害者とも連帯した運動がひろがり、更に核兵器と表裏の関係で開発されてきた原子力発電所についても、原発ゼロを求める行動は国政を揺り動かすまでに発展しています。

こうした運動の一環として、2011年から取組まれているのが「核兵器全面禁止のアピール署名」運動です。この署名は、2010年の核不拡散条約（NPT）再検討会議で、加盟189カ国全てが「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことに合意したことの実行を求めるものであり、すでに全国で210万筆、大阪では11万余筆が集約され、国連に届けられています。

この署名は、核兵器禁止条約締結の交渉にむけて2015年のNPT再検討会議が実りある成果をあげるよう、国際政治の進展を草の根からリードするうえで極めて重要な意義をもつものであり、私たちの役割発揮が期待されています。

2015年のNPT再検討会議にむけては、すでに第1回準備会が今年4月にウイーンで開催され、そこでも世界の圧倒的多数が加盟する非同盟運動や新アジェンダ連合などが、核兵器による威嚇・使用は人類全体に対する犯罪だとして、核保有国の「核抑止力」を厳しく批判しています。

国連加盟国の7割が核兵器禁止条約の即時交渉開始を支持し、世界の平和NGOも一致して要求し、この流れはゆるぎないものとなってきています。

平和を愛する仲間のみなさん

2010年のNPT再検討会議にむけて呼びかけられた「すみやかな核兵器廃絶を」の署名は、大阪63万筆をふくむ全国691万筆が、ニューヨークに派遣された1600余名の日本代表団の手で国連に届けられ、2010年NPT再検討会議の前進に貢献しています。国民一人一人が自分の意思を表すこと—これが署名運動の基本です。

「百万の署名は戦争放火者を激怒させるだろう。千万の署名は彼らを混乱させ、そして億の署名は彼らを沈黙させるだろう」（1950年 ヒューレットジョンソン）という有名な言葉のように、それが多数になれば大きな威力を発揮することは歴史が示すとおりです。

平和を愛する仲間のみなさん

私たちは、本日ここに2015年NPT再検討会議の成功にむけて、すでに取り組まれている「核兵器全面禁止アピール署名」運動の大きな飛躍をはかるため、「核兵器全面禁止のアピール・大阪100万署名推進委員会」を発足させました。

大阪での100万筆の署名は、大阪の反核平和を願う全ての人々の力を集めれば、必ず達成できる目標であることは過去の実績からも明瞭であり、大阪での署名運動の飛躍が全国の運動を大きく激励することも明らかです。この「大阪100万署名推進委員会」に、ぜひ広範な団体・個人の方々をご参加いただき、協力していただくよう心から呼びかけるものです。

「大阪100万署名推進委員会」が中心となって、必要な宣伝資材の作成や統一行動の設定などの準備をすすめます。またお互いの取組みや教訓を交流しながら大阪府内の地域・職場・学園の隅々から核兵器廃絶にむけた学習運動や大規模な宣伝行動、署名運動を具体化させ、すすめていきます。大阪府民のみなさんから寄せられた署名は、節々での各国政府や国連への要請行動、そして大阪からも派遣する2015年NPT再検討会議大阪代表団にこれを託していきます。

皆さんの「核兵器をなくそう」の熱い思いを、大阪100万筆署名の達成へと結実させるために格段のご協力とご奮闘を心から訴えるものです。

2012年10月26日

「核兵器全面禁止のアピール署名・大阪100万署名推進委員会」

代表委員	川辺和宏	（全大阪労働組合総連合議長）
同	川本幹子	（新日本婦人の会大阪府本部会長）
同	向井明彦	（大阪民主医療機関連合会会長）
同	岩田幸雄	（原水爆禁止大阪府協議会理事長）